

川上宏奨学金受給研究結果報告書

研究題目

「ミュージックビデオにおけるアイドルの描かれ方——日本と韓国を比較して——」

1. 研究目的

今やアイドル文化は SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）や YouTube などのソーシャルメディアを通して、子どもから大人まで多くの人に浸透している。様々なコンセプトのアイドルが登場し、世界に向けて独自の文化を発信するようになってきた。アイドル文化の国際化は大きく進んでいる印象を受ける。特にミュージックビデオでのビジュアルは多くの注目を浴び、それを真似る若者も少なくはない。本研究では、そんなミュージックビデオのジェンダー表象を調査することで、現代メディアの男らしさ・女らしさの描き方を明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

本研究ではミュージックビデオにおけるアイドルの「男性らしさ」「女性らしさ」の描かれ方に焦点をあて、内容分析をおこなった。そして、恋愛・役割・外見・行動がどのように描かれているのかを韓国と日本、男性と女性とで比較した。

3. 研究結果・考察

調査の結果、韓国アイドルと日本のアイドルのミュージックビデオにおいては、役割・外見・行動の表象にいくつかの違いが見られた。例えば、行動において、韓国の男性アイドルが「活動的」「指導力」などの男性らしさと共に「かわいい」要素も多く含んでいる、韓国の女性アイドルが「攻撃的」で「性的魅力」を持っているなどの点で、日本のアイドルと大きく異なっていた。今後の課題としては、より多くのミュージックビデオの分析と、現代の「男性らしさ」「女性らしさ」を決定するものの先行研究をより深く進めていくことが必要なのではないかと考えている。

4. 謝辞

本研究を実施するにあたって、奨学金を寄付してくださった故川上宏先生とご家族、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。奨学金をいただけたおかげで、情報の収集にかかる

費用を案じることなく研究に励むことができました。本当にありがとうございました。